

県内の児童生徒・保護者・学校関係者の皆さまへ



冬休み明けも、引き続き感染症対策をより徹底し

新型コロナウイルス感染症を予防しましょう。

お願い

昨年末から新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続き、中部、西部地域ではクラスターの発生事案もありました。1月4日現在、倉吉市、境港市に鳥取県版新型コロナ警報の「警報」が発令されており、予断を許さない状況の中、これまで以上の予防意識が求められています。家庭内での感染など、誰もがどこでも感染する可能性があります。患者やその家族、医療従事者の方などに対し、いわれのない差別や偏見、いじめなどを行うことは断じて許されません。いたずらに感染者個人を特定するような情報を流すことなどが無いよう家庭でもご配慮ください。患者や医療従事者の方々の思いやり、支えあう気持ちでみんながこの感染症を一緒に乗り越えましょう。

冬休みが明けても、マスクの着用、こまめな手洗いや換気、手指消毒を徹底し、特に「三つの密（密閉、密集、密接）」を避け、必要があって会食に参加される場合であっても、大声を控え、少人数・短時間で、できるだけマスクを着用するなど感染予防をしっかりと取っていただきますようお願いいたします。スマートフォンに厚生労働省の「新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）」やイベント会場等での「とっとり新型コロナ対策安心登録システム」などの活用をお願いします。

日頃の健康観察は、新型コロナウイルス感染症だけでなく、インフルエンザ予防の視点でも有効です。毎朝検温し発熱等の風邪症状、においや味の異常がある場合は、無理な登校や外出は控えるなど感染防止対策の徹底にご理解・ご協力をお願いします。感染を疑う場合やPCR検査等を受けられる場合は、学校へもお知らせください。



全国の感染者は高止まりの傾向が続き、様々な指標からみて感染拡大地域が広がりつつあり、最大限の警戒を要する時期となっています。緊急事態宣言の検討に入っている東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県をはじめ、「感染流行警戒地域（Ⅳ）」「感染流行嚴重警戒地域（Ⅴ）」については、それぞれの地域での感染拡大防止を応援するためにも、不要不急の往来は控えていただくようお願いいたします。

引き続き自らを感染から守るだけでなく自らが周囲に感染を拡大させないことを念頭に行動をしましょう。

新型コロナウイルス感染症に関する県内の相談窓口

倦怠感やのどの違和感、発熱、味覚・嗅覚など少しでも違和感を自覚した場合には出歩かず、まず事前にかかりつけ医に連絡しましょう。受診の際は、事前に受診方法等を確認するとともに、マスクを着用し、できるだけ公共交通機関の利用を避けて受診いただくようお願いいたします。相談先に迷う場合は、「受診相談センター」にご相談ください。

受付時間	受診相談センター連絡先		
9:00～17:15 ※土日祝日含む ※年末年始（12/29～1/3）を除く	（電話）0120-567-492 コロナ・至急に		
	（ファクシミリ）0857-50-1033		
上記以外の時間	東部地区 （電話）0857-22-8111	中部地区 （電話）0858-23-3135	西部地区 （電話）0859-31-0029



陽性者と接触歴があるかたや接触した可能性があるなどのご心配な場合は、各地区の保健所（接触者等相談センター）にご相談ください。

地区	電話（8:30～17:15）	ファクシミリ（平日8:30～17:15）
東部（鳥取市保健所内）	0857-22-5625	0857-20-3962
中部（倉吉保健所内）	0858-23-3135	0858-23-4803
西部（米子保健所内）	0859-31-0029	0859-34-1392

【学校教育に関する相談窓口】（受付時間：平日午前8時30分から午後5時15分）

鳥取県教育委員会事務局体育保健課 0857-26-7527

家庭内のできる感染予防 ～大切な人を守るために～

主な感染経路は、「飛沫感染」と「接触感染」。家庭内での感染を防ぐため、予防を徹底しましょう。

◎飛沫感染:大声で話した時に出るつばや、咳、くしゃみなどに含まれたウイルスを吸い込むなど

◎接触感染:つばや排泄物がついた手で周りのものを触った後に、他の方がそこを触り、口や鼻を触ると粘膜から感染するなど

◆必ずしていただきたいこと

- 「**親しき仲にもマスクあり!**」…十分な距離がとれない時は**マスクを着けましょう**。
- こまめな手洗い …接触感染を防ぐため、外出後、食事の前、トイレの後など。
- こまめな換気 …屋内では空気の出入口を2か所設け、空気の流れを作る工夫を。
- 共有部分(ドアノブ、手すり、スイッチ)の**消毒**
- タオルや歯磨き粉などの共用を避ける
- 食べ物や飲み物、食器の共用は避ける



◆していただきたいこと

- 適度な湿度(50~60%)を保つ
- 可能であれば、食事の時間や場所を分ける

◆遠方から帰省されたご家族と過ごすときの感染予防

- 家庭内での感染予防が難しい場合は、宿泊施設の利用も検討しましょう
- 帰省される方は、帰省される前の一週間、可能であれば2週間は、大人数での会食は控えましょう
- 高齢者や基礎疾患がある方など重症化リスクの高い方と会う時は、必ずマスクを着用するなど特に感染予防に留意しましょう